



令和7年12月25日
学校運営協議会発行
中能登中学校
第10号



CSだより

第2回 学校運営協議会を開催しました <11/14>



学校運営協議会委員の皆さんに、生徒の普段通りの授業風景を見ていただき、水谷内校長から学校経営の中間報告を受けました。その後、「部活動地域展開」と「防災教育」についての2点を重点的に協議しました！

「部活動地域展開」では、兼職兼業の教職員も含む指導体制や課題、今後の見通しなど、各部の状況についての説明、「防災教育」では、文科省の方針や中能登中学校で実施された防災学習の取組について説明がありました。

協議の中では、このような意見や提案が出されました！

【部活動地域展開について】

- 中能登町は1町1校という規模の特性もあり、地域と学校が比較的うまく連携できている。外部指導者の方々が、日頃から支えてくださっているおかげで、生徒も教員も負担感が少なく、お互いに助け合える良い関係ができている。
- ➡大会で結果を残した生徒の懸垂幕が掲げられているが、指導者の努力や貢献について、いろいろな方に分かっていただくために、指導者の名前も記載できたら良い。
- ➡子どもたちの基礎を育てる段階として、無理のない活動を考えていく必要性もある。

【防災教育について】

- 単発な学習とせず、継続的に学べる仕組みを作っていきたい。中学生は将来、避難所運営の担い手にもなりうる。小学校との学習内容の重複を避けつつ、実践的な学びに発展させたい。
- ➡避難所設営のシミュレーションゲームなど、楽しさと学びが両立する活動を実施しては？
- ➡災害発生時に学校にいない場合、避難所に入るときの衛生面の配慮など、現実を踏まえた声かけや指導も必要。
- ➡能登半島地震の経験から、つらい記憶がよみがえる子もいるため、慎重な配慮が必要。
- ➡震災を経験された、避難所を運営された地域のリーダーから直接お話を聞く機会があってもいいのでは？子どもたちにとって、とても大切なことを学べるのではないかな？

委員のみなさんからの「これからも学校の力になっていきたい！」という想いに触れ、地域の力を生かしながら、子どもたちが安心して成長できる環境をどう作っていくか、丁寧に考え合う学校運営協議会となりました。



中能登しごと館 <11/1> 全学年

中能登しごと館は、「いろいろな仕事を知って、将来のことを考えるきっかけになってほしい」という思いからスタートしたPTA主催の取り組みです。今年度は15業種25名の方を講師としてお迎えしました。



調理実習 <11/7~11/20> 2年生

自分たちで育てたサツマイモを使って「スイートポテトづくり」に挑戦しました。先生からレシピの説明を受け、7グループに分かれて調理実習を行いました。慣れた手つきで作業する生徒、どうやってサツマイモの皮を剥くかがわからない生徒、いろいろな様子が伺えましたが、食育改善推進員のみなさんの丁寧なアドバイスやサポートもあり、とても美味しい仕上がりになりました。生徒はみんな「良いにおいする〜♥️」「めちゃくちゃ美味しい！」と絶賛でした。

食育改善推進員のみなさん、ありがとうございました。



エコバッグ制作 <12/4・12/11・12/18> 1年生

家庭科の授業でエコバッグを作っています。先生から作り方の説明を聞き、「作業の途中で分からないことがあればサポーターに確認する！まずは自分でやってみる！」と指導を受け、作業を開始しました。生徒が小学生の時には家庭科（ミシン操作）の授業で、サポートに入ってくださっていたので、生徒・サポーターのみなさんの「久しぶりやね！」「覚えとるよ！」のやりとりが何度も見られました☆

着物リメイク会のみなさん、ありがとうございました。

